

東武動物公園 ニュースリリース

動 28-10 号
平成 28 年 10 月 4 日

ご存知ですか？ヘビクイワシ ヘビクイワシ繁殖賞イベント開催

東武動物公園(東武レジャー企画(株)、埼玉県宮代町、社長:日置岳人)では、昨年、日本で初めてヘビクイワシの人工育雛に成功しました。それに伴い(公社)日本動物園水族館協会より 2016 年 5 月 27 日に「繁殖賞」をいただきました。この記念と来年の干支「酉(とり)」にちなみ 10 月 9 日(日)に、「ヘビクイワシ繁殖賞イベント」と題し、ヘビクイワシの魅力や繁殖の取り組みなどについて紹介するイベントを開催します。

《ヘビクイワシ繁殖までの経緯》

当園では、ヘビクイワシ(“バンドル”(オス、9 歳)、“プロア”(メス、10 歳))を 2011 年より飼育しており、繁殖に取り組んできました。

2014 年、プロアが初めて産卵し、ヒナが生まれましたが、生後 3 日目に残念ながら亡くなってしまいました。この時の死因は特定できなかったものの、これを教訓に人工繁殖も視野に入れ次のチャンスを待つことにしました。

そして、2015 年 6 月に再びプロアが卵を生みました。まずはプロアたちに任せて観察していましたが、一週間ほどたった日、抱卵をやめてしまったため、やむを得ず卵を取り上げ孵卵器に入れて見守ることにしました。

その後、有精卵ということが判別し 2015 年 8 月 9 日に無事孵化しました。生まれたヒナは男の子で名前は「8」、「9」の語呂合わせと、パクパクいっぱいご飯を食べて元気に育ってほしいという願いも込め“パクンチョ”と名付けました。

人工育雛のデータがないため、他の猛禽類のデータを参考にエサの量などに気をつけながら慎重に育てました。そんな心配をよそにパクンチョはどんどん大きくなり、同年 12 月 2 日よりお客様にお披露目となりました。現在は、体長約 90 cm と大きく成長したパクンチョですが、甘えん坊で担当飼育係の姿を見ると「パイパイ」とヒナの頃のような鳴き声を出し寄ってきます。

また、2016 年 5 月 29 日にもヘビクイワシが 2 羽誕生しています。この 2 羽も人工育雛で元気に成長しています。お披露目については決まり次第お知らせします。



2015.8.11 撮影



2015.9.12 撮影



2015.12.1 撮影

《繁殖賞について》

繁殖賞は、公益社団法人日本動物園水族館協会が規定している表彰の一つです。協会に加盟する園館で飼育動物の繁殖に成功し、且つそれが日本で初めてのものに与えられる賞です。

- ・自然繁殖・・・まったく人の手を煩わせることなく生育したもの。
- ・人口繁殖・・・生まれてからまったく親の哺乳を受けずに育ったもの。あるいは卵を孵卵器でかえし、育雛したもの
- ・人口授精・・・人の手で受精し、誕生したもの

いずれの場合も 6 ヶ月以上生存しなければなりません。レオポンなどの一代雑種の繁殖や、家畜・家禽は対象外です。有袋類の場合は、子供が育児嚢より初めて顔を出したのを確認した日とします。これらの条件を満たした上、加盟施設の自己申請によって審査がなされます。

《ヘビクイワシ繁殖賞イベント》

【開催日】2016年10月9日(日)

【開催時間】10:30～約20分

【開催場所】猛禽舎(ヘビクイワシ舎前)

【開催内容】

日本で初めてヘビクイワシ“パッケンチョ”の人工育雛に成功し、(公社)日本動物園水族館協会より繁殖賞をいただきました。この記念と来年の干支「酉(とり)」にちなみ、ヘビクイワシの魅力や繁殖の取り組みなどについて紹介します。イベントでは、エサの食べ方や翼の使い方、特徴的な脚の使い方などを実際にご覧いただけます。また、ご覧いただいたお客様には飼育係特製「ヘビクイ和紙のはがき」をプレゼントします。

(先着30名様限定)

※動物の体調や天候等により中止となる場合がございます。



2016.9.30 撮影

《ヘビクイワシについて》

体長 1,3～1,5m 体重 2,5～4,5kg サハラ以南のアフリカに分布 タカ目ヘビクイワシ科ヘビクイワシ属
目の周りの鮮やかなオレンジ色と細く長い脚をもつ優雅な鳥です。名前の通り野生ではヘビなどの爬虫類を食べるほか、小型の哺乳類や昆虫も食べます。獲物を捕らえるときは、脚で踏み弱らせてから食べます。繁殖の場合は樹上に巣をつくり、夫婦でヒナを育てます。

〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画(株) 業務部 山口・中嶋・前田・白石

TEL 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>